



ALLIANCEBERNSTEIN®

2021年10月

受益者の皆様へ

アライアンス・バーンスタイン株式会社

## **「アライアンス・バーンスタイン・財産設計 2020/2030/2040/2050」の変更について**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・財産設計 2020/2030/2040/2050」（以下、「財産設計シリーズ」といいます）につきまして、商品性の一層の向上を目指し、下記の変更を行うこととなりましたので、お知らせ申し上げます。

今後の投資信託の運用につきましても引き続き万全を期して努力してまいり所存でございます。今後とも弊社ファンドをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 変更内容

- ① 財産設計シリーズの投資対象ファンド「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル株式バリューストック戦略ファンド（50%ヘッジ）」の投資対象に、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド」の受益証券（以下、GGO マザーファンド受益証券）を追加します。
- ② 同時に、投資対象ファンド「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル株式バリューストック戦略ファンド（50%ヘッジ）」の名称を、「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル株式ファンド（50%ヘッジ）」に変更します。

### 2. 変更理由

- SDGs\*と ESG\*\*を活用し社会的価値を創造する企業への選別投資を行う GGO マザーファンド受益証券を投資対象に追加することで、長期的な視点からサステナブル（持続可能）な未来の実現に向け貢献することが可能になると考えています。
- 企業の成長機会を捉える GGO マザーファンド受益証券を追加することで、より広範囲の魅力的な投資機会を得るため変更を行います。

\* SDGs（持続可能な開発目標）とは、貧困や不平等、環境破壊などの様々な問題を解決することを目指す、世界共通の目標です。17の目標と、より具体的な169のターゲットから構成されます。



**ALLIANCEBERNSTEIN®**

\*\*ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉であり、ESGの非財務情報を考慮した投資をESG投資と呼びます。

3. 変更実施時期

2021年10月15日

以上